

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	総合教育センター
	施策	学校教育の充実		電話番号	811-2161
	基本事業	教員の資質向上と教育指導体制の充実		事業実施主体	市
	事務事業	教育に関する調査研究推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	研究実績を踏まえつつ、本市の学校教育における教育課題を踏まえてテーマを設定し、実証的な調査研究を推進する。 ・調査研究を推進するにあたり、研究協力校、市立学校・園はもとより関係機関の協力を要請する。 ・調査研究の成果は、教育フォーラムやホームページ掲載により、広く教職員に公開するとともに、研修講座や学校教育等で活用する。		
30年度概要	学習指導要領の改訂や喫緊の教育課題を踏まえ、研究協力校や研究推進委員及び関係機関等に協力を要請し、実証的な調査研究を推進する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	高松市内の小中学校教育職員及び教育関係者
意図(どのような状態にしたいか)	学校教育に係る教職員の資質向上や本市の教育の充実・振興を図る上で妥当である。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
調査研究委員会開催数	回		15	15	15	15

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	調査研究発表大会等参加人数(平成29から教育フォーラムに変更)	人	目標値		150	220	250	300
			実績値		154	150		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 参加人数が目標値の約7割であった。 (目標達成度)							(達成度) 68.2%
								23点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	21,652	22,139	21,791	22,853
(事業費)	[千円]	13,975	14,288	14,204	15,266
(職員人件費)	[千円]	7,677	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
市内3小学校において、学校の実情を踏まえ、取り組み内容について調査研究を行い、大学教員等と連携して支援するとともに、児童及び教職員等に意識調査を実施し、取り組みの成果を検証した。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
教科指導に限定せず、喫緊の教育課題についてテーマを設定し、学校現場に資する実証的な研究を推進する。			

平成30年度(29年度決算分)高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	教員の資質向上と教育指導体制の充実		事業実施主体	市
	事務事業	研究指定校研究推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	国・県から研究指定校等事業を受けることで、学校課題の解決及び学校教育活動の改善・充実を図るとともに、教職員の資質・能力の向上を図る。		
30年度概要	国・県から事業を受託し、研究指定校が必要とする経費を支出する。研究推進についての指導・助言を行う。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	高松市立小・中学校
意図(どのような状態にしたいか)	研究指定校等事業の実施により、学校課題の解決等を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
研究推進についての指導・助言を行った学校数	校		6	9		9

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	研究指定校等事業の成果を生かしている学校数の割合	%	目標値		11	11		11
			実績値		14	18		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 研究指定等事業の受託を希望する学校への支援により、校課題の解決等を図りながら、目標を概ね達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 163.6%
								35点
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	5,559	6,131	5,066	5,794
(事業費)	[円]	1,720	2,205	1,272	2,000
(職員人件費)	[円]	3,839	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
研究指定校としての取組により、教育活動の工夫、改善に大きく貢献している。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
事務処理が煩雑になるため、学校と市教委の連絡を密にし事務負担の軽減を行う。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	教員の資質向上と教育指導体制の充実		事業実施主体	市
	事務事業	学校評議員制度推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	学校が地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携協力し、一体となって、子どもの健やかな成長を図っていくため、学校評議員を委嘱し、学校運営に有効に活用するとともに、より一層地域に開かれた学校づくりの推進に役立てる。		
30年度概要	学校が家庭や地域と連携協力し、一体となって子どもの健やかな成長を図るため、学校運営協議会を各小・中学校に設置し、経費補助を行う。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市立学校・幼稚園
意図（どのような状態にしたいか）	学校が家庭や地域と連携協力し、一体となって子どもの健やかな成長を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
学校評議員委嘱人数	人		342	343		350

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	学校評議員制度実施割合	%	目標値		100	100		100
			実績値		100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 全ての学校において、学校評議員制度の活用ができていることから、目標どおり達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	3,839	3,926	3,794	5,177
（事業費）	[円]				1,383
（職員人件費）	[円]	3,839	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 学校が地域と連携協力を図り、特色ある教育活動を行うことができた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 学校が家庭や地域と連携協力し、一体となって子どもの健やかな成長を図るため、高松型学校運営協議会を各小・中学校に設置する。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	高松第一高等学校事務局
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-861-0244
	基本事業	教員の資質向上と教育指導体制の充実		事業実施主体	市
	事務事業	高等学校教育研究研修事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	各種の研究会等への参加や、研究用の雑誌を講読することで、教員の資質の向上とともに授業の質を高め、生徒の学力向上に寄与する。		
30年度概要	各種研究大会参加費等		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	学校教員
意図(どのような状態にしたいか)	教師の教育力の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
各種研究会・大会等の参加回数	回		23	26	25	25

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	国公立大学の合格率	%	目標値		35	35	35	35
			実績値		31	34		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 県外の研究会・大会等に参加することにより、教師の資質の向上及び授業への反映を図っており、生徒の学力の向上。さらには、国公立大学の合格者の増加に繋がっている。 (目標達成度)							(達成度) 97.1% 33点
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	298,844	304,279	292,371	292,371
(事業費)	[円]	53,180	53,047	49,587	49,587
(職員人件費)	[円]	245,664	251,232	242,784	242,784

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)	各種の研究会等への参加や、研究用の雑誌の講読などを行い、教員の資質の向上を図った。		
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)	各種研究会への参加等を通じて教員の資質を高めることで、生徒の学力向上への寄与が見込まれることから、本事業を継続する。		

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	総合教育センター
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	教員の資質向上と教育指導体制の充実		事業実施主体	市
	事務事業	特別支援教育体制整備推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	幼稚園から高等学校までの発達段階に応じた、発達障害を含む様々な障害を持つ幼児児童生徒に対する適切な教育的支援のための体制整備を推進するために、巡回相談員、専門家チームによる巡回相談、県立特別支援学校教員による連携訪問等を行い、障がいのある幼児児童生徒の指導内容・方法について指導・助言を行い充実を図る。巡回相談員研修、特別支援教育支援員、特別支援教育コーディネーター養成研修、特別支援教育研修会を香川県と共催し、受講者の専門性の向上を図る。
-------	--

30年度概要	巡回相談報償費 連携訪問旅費 教員研修需用費 高松地域特別支援連携協議会役務費
--------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	発達障害を含む様々な障害がある幼児児童生徒の指導・支援等を行っている教員等
意図（どのような状態にしたいか）	対象者に指導・助言・研修を行うことにより、特別な支援を必要とする幼児児童生徒の指導対応能力等の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
巡回相談回数（巡回相談員、専門家チーム）	回		30	35	32	32
連携訪問回数	回		56	48	60	60

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	相談希望校等への相談訪問率	%	目標値		100	100	100	100
			実績値		100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 障害の種類が複雑になってきており、支援を適正に行う体制整備を行う必要があるなかで、希望した学校にはすべて対応できた。 (目標達成度)							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
			目標値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	22,750	8,094	7,804	7,861
（事業費）	[円]	15,073	243	217	274
（職員人件費）	[円]	7,677	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

巡回相談、連携訪問を合わせて83回実施したが、それぞれ各校1回という限定を設けており、潜在的ニーズは応えられていない。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

対象校や対象児童生徒の増加に伴い、巡回相談など相談業務に関わる人員と財源の確保に努める。